

プラズマ・核融合学会誌

第92巻第3号

2016年3月

記事タイトルをクリックすると
本文PDFが開きます

プロジェクトレビュー	国際核融合エネルギー研究センターの高性能計算機システム Helios を利用した 国内シミュレーション研究プロジェクトの進展 日本原子力研究開発機構 IFERC-CSC 利用委員会, IFERC 事業チーム, IFERC-CSC ホームチーム	157
解 説	臨界状態プラズマ乱流における帯状流と乱流の相互作用 小林すみれ, GÜRCAN Özgür D., ROGERS Barrett N.	211
講 座	はじめてみよう！高エネルギー密度プラズマ計測 1. はじめに 重 森 啓 介 218 2. レーザー生成プラズマ計測の第一歩 重 森 啓 介 221 3. ハイパワーレーザーを用いた物質極限状態の生成と観測 尾 崎 典 雅 226	
サ ロ ン	核融合科学技術委員会の設置にあたり 小 川 雄 一	233
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		235
インフォメーション	ITER だより(56) 【会議報告】第17回レーザー応用プラズマ計測に関する国際シンポジウム／ 第57回アメリカ物理学会プラズマ物理分科会 (APS-DPP) 年会 【人事公募】	236
Plasma & Fusion Calendar		245
本 会 記 事	第28回専門講習会「プラズマ医療の現状と展望」開催報告／プラズマ・核融合学会誌掲載料・別刷料の 一部改定について／代議員候補者信任投票のお願い	247
編 集 後 記		

表紙の絵

TST-2 球状トカマク装置の内側真空容器は薄く、数十 kHz の交流（高周波）周回電圧を印加することができる。そこで、中心ソレノイドを両極性スイッチング電源に繋ぎ、小磁束振幅交流周回電圧の可能性を探った。その結果、予備電離として有用であること、直流電流駆動の可能性を持つことが示された。（Akira EJIRI *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 11, 1202004 (2015) <http://www.jspfor.jp/PFR/>）

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 3F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。